

芸術鑑賞会

6月18日、茨城県民文化センターにて芸術鑑賞会を開催しました。演目は劇団銅鑼による『チャージ』という演劇でした。



開演前には複数の生徒達が劇団の方に混じり、鑑賞のマナーについての注意喚起を行い、会場は笑いに包まれました。



詐欺を犯してしまった主人公の遙が清掃の仕事を通じて、「働く」とはなにか、「生きる」とはなにか、という問題に向き合っていく様子を、生徒たちは集中して見守っていました。



今回の芸術鑑賞会で、遙が周りの人々に支えられ更生し、働く意義を見出すことができた姿を見て、生徒たちも働く意義とはどのようなものなのか意識することができたように感じます。

